

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科・経営戦略専攻
大項目	1 教育研究上の目的
中項目	
小項目	1.0.1 教育研究上の目的
要素	「教育研究上の目的」をグローバル化時代の要請に応えた国際的に通用する高度専門職業人育成に配慮した内容のものとしているか。 「教育研究上の目的」をステークホルダーの意見を反映した内容のものとしているか。 「教育研究上の目的」は、学校教育法第99条第2項の「高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培う」の規定から外れるものではないか。 「教育研究上の目的」を受審校の発行する印刷物等、例えば、学則、入学案内、授業要覧及び履修要綱等に、また、ホームページに掲載し、周知公表を図っているか。
小項目	1.0.2 「教育研究上の目的」の重要な要素
要素	「教育研究上の目的」は、企業等組織のマネジメントに関する高度の専門知識・技能及び基礎的素養を修得する内容のものとなっているか。 「教育研究上の目的」は、学生のキャリア形成に寄与する内容のものとなっているか。 「教育研究上の目的」は、所属教員の教育研究活動の推進に寄与する内容のものとなっているか。
小項目	1.0.3 「教育研究上の目的」の継続的な検証
要素	「教育研究上の目的」を検証する組織的な体制が整備されているか。 「教育研究上の目的」の継続的な検証に必要な資料の収集及び管理の体制を整備しているか。 「教育研究上の目的」の検証プロセスにステークホルダーの意見を聴取する機会を設けているか。
小項目	1.0.4 「教育研究上の目的」の達成に必要な財務戦略
要素	「教育研究上の目的」の達成のために必要な財政的基礎を有しているか。 「教育研究上の目的」の達成のために必要な資金調達戦略を立てているか。 「教育研究上の目的」の達成のために必要な予算措置をしているか。

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. In order to meet the needs of globalized age, cultivate the efficient business human resources understanding multiple cultures and having high ethical sense in terms of relation with stakeholders. グローバル化時代の要請に応えるため、多文化を理解し、ステークホルダーとの関係において高い倫理観を備えた有能なビジネス人材の育成	→Satisfactory level of the graduates and of the persons in charge of personnel section of the organization that hired our graduates. 修了生の満足度と修了生を雇用している組織の人事担当者の満足度	A
2. Provide appropriate education required for worldclass managerial candidates with focused functional expertise. (国際的に通用する専門領域を持ったマネージャー人材に必要とされる教育の提供)	→a. Number of students from various backgrounds and countries. (様々な経歴と国籍をもつ学生の数)	A
	→b. Number and proportion of entering students who have working experience. (就労経験のある入学者の数と割合)	A
	→c. Examine and encourage efforts by faculty to conduct and present/publish research and to use their research interests to stimulate their teaching. (教員の研究活動や研究発表への取り組みを把握、促進し、研究成果を活かして教育成果の向上を図る。)	A
3. Enhance the linkage with Accounting School. 会計専門職専攻との連携強化	→BSとASの複数教員が担当し、両専攻に共通して提供する科目数	A

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目1.0.1	(教育研究上の目的) グローバル化時代の要請に応えるため、多文化を理解し、ステークホルダーとの関係において高い倫理観を備えた有能なビジネス人材の育成 国際的に通用する専門領域を持ったマネージャー人材に必要とされる教育の提供 会計専門職専攻との連携強化  (現状説明) 国内のみならず国際的にも通用するカリキュラムと教員、教育システムを備えている。 両専攻共通の科目を複数設置している。
☆ 小項目1.0.2	(現状説明) カリキュラムは基礎的なコア科目から応用、先進的なアドバンス科目まで取りそろえられている。 学生の修了時には入学時と見違えるほどの学力、問題解決能力を身につけている。

☆ 小項目1.0.3	(現状説明) 各種の委員会を執行部のもとに設置し組織的な情報収集、意思決定を可能としている。各種会合の定期的実施や議事録による確認で教員相互のコミュニケーションを万全なものにしている。学生の授業評価、インタビュー等のほか、FDの推進で教育プロセスをチェックしている。
☆ 小項目1.0.4	(現状説明) 授業料収入、大学本部資金のほか、外部補助金の獲得を行い研究教育に十分な資金を確保している。しかしながら、今後も受験生を安定的に確保するためには、十分な広報予算を確保する必要がある。残念ながら、この面に関しては本研究科に対する予算が毎年10%削減されている状況であり、その面からも1つの不安要素となっている。
☆ その他	

## ◎効果が上がっている事項

## 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目1.0.1	
小項目1.0.2	多彩な授業科目と、任期制教員も含め専門性高く幅広い分野をカバーする教員群が存在。これによって、学生が個々のニーズに応じた学習が可能になっている。
☆ 小項目1.0.3	
小項目1.0.4	
その他	



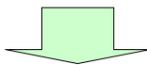
## 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目1.0.1	
小項目1.0.2	
☆ 小項目1.0.3	
小項目1.0.4	
その他	

## ◎改善すべき事項

## 【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目1.0.1	
小項目1.0.2	
☆ 小項目1.0.3	
小項目1.0.4	優秀な学生を確保するための予算の確保。
その他	



## 【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目1.0.1	
小項目1.0.2	
☆ 小項目1.0.3	
小項目1.0.4	広報活動のより一層の効率化を図る。
その他	

## ◎自由記述

## 【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

### Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価推進委員会からの評価＞（実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室）

- 現状説明の中では、「入学時とは見違えるほどの学力、問題解決能力を身につけている。」と記述されています。例えば、修了生の自己評価の結果など、具体的な根拠についても記述することが望まれます。
- 2009年度に設定された目標は、すべて進捗状況で「A」の判断ですが、目標に具体的な数値(割合、人数、科目数)が示されていないので達成度がわかりづらくなっています。
- 研究科がさらに改善、向上していくために、あらたに中期的な目標を設定することも検討されてはいかがでしょうか。
- 改善すべき事項の改善方策には、より具体的な記述が望まれます。
- 2009年度の分野別認証評価において課題が示されています。対応ははいかがでしょうか。

### Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ★ 広報活動の効率化の一環として、参加者が減少している日経進学相談会の参加を取りやめ、研究科独自のセミナーを充実させる。